



フラタナス



本気・勇気・元気 / 「保護者、地域と共にあゆむ明峰小学校」

令和6年11月1日

「ありがとう」が言える学校を！

校長 鈴木克彦



秋の深まりを感じる季節になり、今日から11月です。先月行われた「運動会」では、保護者や地域の方々には、事前の準備、当日の準備・運営・片付けとご協力いただきました。また、当日の子供たちの演技・競技に対するたくさんの声援・拍手のおかげもあり、子供たちの成長を実感した「運動会」を実施することができました。ありがとうございました。

学校は、スポーツの秋「運動会」から、芸術・音楽の秋「校内音楽発表会」になります。子供たちは、大きな目標に向かって毎日頑張っていますが、なかには、毎日の練習等で疲れを感じる児童もいると思います。子供たちが出かけるときの「行ってらっしゃい!」、帰ってきたときの「おかえりなさい」そして、「おやすみなさい」「おはよう」など、毎日のあいさつ（優しい言葉掛け）が、子供たちの力になり、子供たちの健康状態（小さな変化に気付く）を確認することにもつながります。子供たちの日々の健康管理をよろしくお願いします。



さて、先日、「いじめについて考えよう」という内容で、授業を進めている学級がありました。その中で、友達に言われてうれしい言葉（ふわふわ言葉）、友達に言われて嫌な言葉（チクチク言葉）について考えている場面がありました。

ふわふわ言葉：ありがとう、ごめんね、どんまい、頑張って、いいよ、・・・。

チクチク言葉：うざい、消えろ、ばか、あっち行って、きもい、・・・、が出ていました。

よく、「ふわふわ言葉には、どんな言葉がありますか？」と聞くと、「ありがとう」という言葉が一番出てくることが多いです。誰でも、「ありがとう」という言葉はよく使いますが、「ありがとう」という言葉について考えることは少ないと思います。



「ありがとう」という言葉は、「ありがたい」という言葉からできた言葉で、「ありがたい」は、「ある」と「がたい」に分けられます。「ある」は、ここにあるの「ある」です。「がたい」は、「ゆるしがたい：ゆるすことがむずかしい」

「信じがたい：信じるのがむずかしい」など、「がたい」は「むずかしい」ということになります。

「あることが、むずかしい」ということは、「めったにない」「なかなかない」ということから、何かあったことに「ありがたいな」、あってくれて「ありがとう」として使われるようになりました。

例えば、お昼になると「給食」が出てきますが、それを「当たり前」だと思わずに、「給食」が出てくる・食べられるということが「ありがたいな」と思えると、給食を作ってくれる明峰小学校の給食室の人たち、食材を作ってくれる人たち、野菜や魚、お肉などにも、「ありがとう」という感謝の気持ちがもてるようになります。

「ありがとう」と思えることが、自分の「幸せ」につながります。そして、「ありがとう」という気持ち（言葉）を相手に伝える事で、相手も「幸せ」な気持ちになっていきます。みんなが「幸せ」な気持ちで生活できると、「どの学校、誰にでもいじめは起こり得る」と言われる「いじめ」が生まれない、「いじめ」のない、みんなの大好きな「たのしい明峰小」になっていきます。みんなで自然に「ありがとう」が言える明峰小学校にしていましょ。

11月の主な行事

日	曜	主な行事予定	日	曜	主な行事予定
1	金	彩の国教育の日 あいさつ運動	16	土	校内音楽発表会 月曜日課5時間
2	土		17	日	
3	日	文化の日	18	月	振替休業日
4	月	振替休日	19	火	児童朝会 校外学習3年 朝マラソン ペろりん週間
5	火	月曜時間割 全校朝会 読書月間(~29日)	20	水	朝マラソン
6	水	音楽朝会(親善音楽会励ます会)	21	木	クラブ
7	木	親善音楽会5年 委員会	22	金	短4 すずかけ読み聞かせ46年 教育相談①
8	金	社会科見学4年 すずかけ読み聞かせ35年	23	土	勤労感謝の日
9	土		24	日	
10	日		25	月	子ども写生大会作品巡回展(~12月6日)
11	月	朝読書	26	火	短4 教育相談② 持久走記録会(4~6年)
12	火	音楽朝会 業間マラソン	27	水	短4 教育相談③ 持久走記録会(1~3年)
13	水	朝マラソン	28	木	短5 教育相談④
14	木	県民の日	29	金	短4 教育相談⑤
15	金	月曜時間割 児童朝会 業間マラソン	30	土	



☆行事予定は、状況により変更になることがあります。詳しくは学年だより等でご確認下さい。



彩の国教育の日

秋季運動会 10月19日(土)



埼玉県では、11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」として取り組んでいます。

なお、「彩の国教育の日」については埼玉県教育委員会のHPをご覧ください。



「心を一つに 優勝目指せ!三色の旗」をテーマに、どの学年の児童も、全力で頑張りました。応援している人の心も感動させる素晴らしい運動会でした。

令和6年度学力学習状況調査について

- 全国学力学習状況調査(4月18日・第6学年)** 全国平均比: ◎上回る ○同等 △課題
 全国平均と比較して 国語 +0.7割 算数 +0.2割
 【国語】◎「話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと」全領域
 【算数】◎「数と計算」「図形」「変化と関係」領域 △「データの活用」領域
- 埼玉県学力学習状況調査(5月14日~5月16日・第4~6学年)** 県平均比: ◎上回る ○同程度 △課題
 【国語】埼玉県の平均と比較して



- 4年国語 -3.5割 5年国語 +0.5割 6年国語 +4.3割
- ◎「我が国の言語文化」 ◎「言葉の特徴や使い方」 ◎「言葉の特徴や使い方」
 △「読むこと」 ○他3領域 他3領域
- 算数 -4.0割 算数 -0.9割 算数 -0.7割
- 「数と計算」「図形」 ◎「図形」 ◎「データの活用」
 △「測定」「データの活用」 △「変化と関係」 △「変化と関係」「図形」

今回の調査結果で、良かった点は、国語・算数の両方で、前年度より学力を伸ばした児童の割合が県平均より10%も多く見られました。また、基礎基本の問いに対しての正答率は県平均を上回っていました。

課題は、主に2つあります。①「無回答」と②「記述式問題の正答率」です。また、県学調の質問紙の中で、「自分には、よいところがあると思いますか」という問いに対して、「よく当てはまる」「少し当てはまる」と答えた児童が、県や市の平均より10%程度低く、自己肯定感を高めていく必要があると考えます。

その課題に対して、学校の取組としては、誰もが「分かった」「できた」を実感できる授業づくりと題して、学級経営を核とした授業改善を行っております。具体的には、各学年の実態に応じて、一人一人の考えの良さを認め合う場や小さな成功体験を積み上げる場を設けた学習を展開しています。また、トコろん学力向上プロジェクトの一環でもある「めあて⇒見通し⇒学び合い⇒まとめ⇒ふりかえり」の授業展開を通して、児童の見通しを持って、学習に取り組める工夫も行っております。

これらを含む取組を通して、生き生きと学習に取り組み、考えを表現できる子がさらに増えるように育成してまいりたいと思います。